

後期高齢者医療制度に国民の怒り沸騰



政府は、75歳以上の高齢者を対象にした「後期高齢者医療制度」をこの4月から実施し、70～74歳の窓口負担も来年4月から2割に引き上げようとしています。具体的には、75歳以上の高齢者を国保や健保から追い出し、すべての高齢者から保険料（平均月額6200円、厚労省試算）をとりたてる。

受けられる医療を制限し差別する「別建て診療報酬」を設ける。

保険料は年金から天引きする。

保険料を払えない人からは保険証をとりあげ、医療を受けられなくする、などです。

これまで保険料を負担していなかった扶養家族も、今年10月から徴収されます。

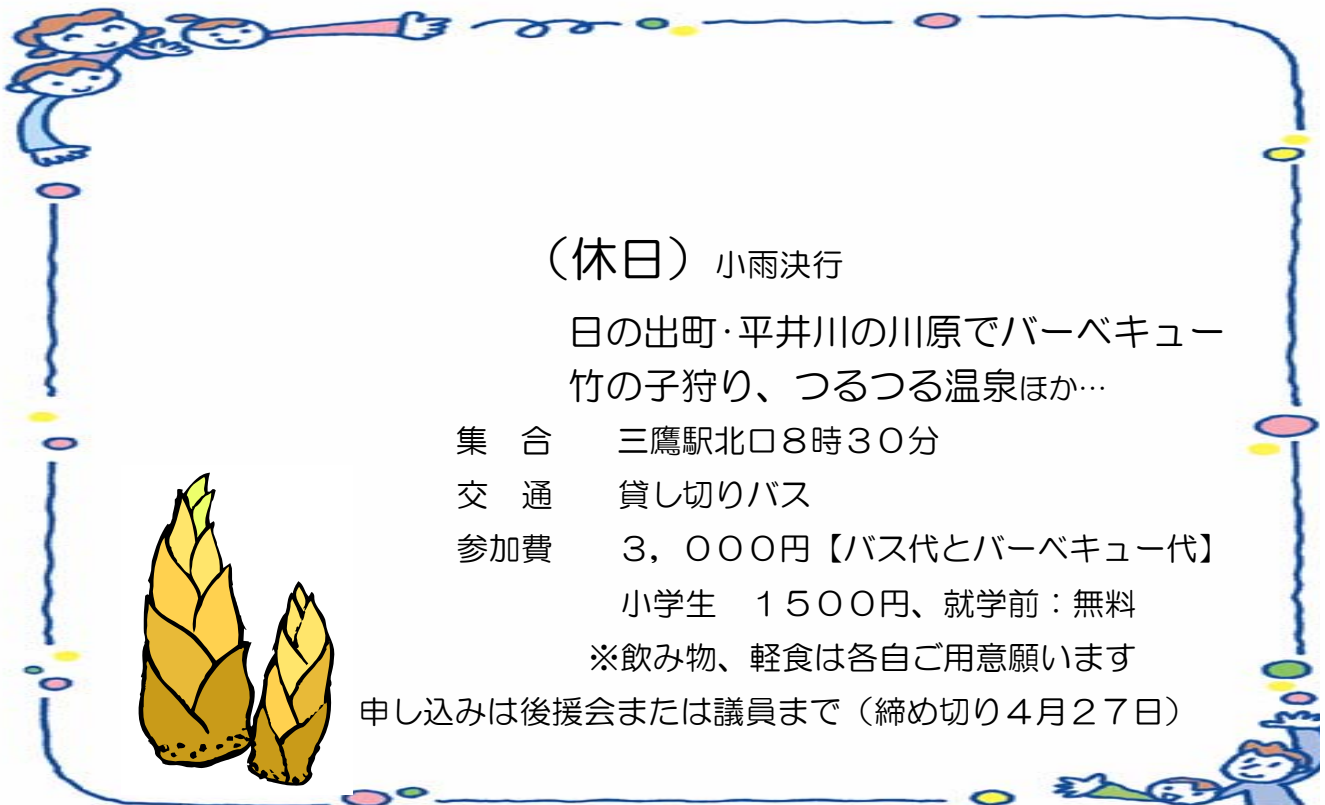
3月18日に、小泉たみじ衆院18区予定候補と日本共産党武蔵野市議団は、「後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める請願署名」を武蔵野・三鷹合わせて975筆分国会に提出しました。

日本共産党は、制度が実施された4月以降は、新たに「後期高齢者医療制度を中止し、廃止を求める請願署名」に取り組んでいます。ご協力をお願いします。

請願項目

- 一、後期高齢者医療制度については実施を中止し、廃止すること。
- 一、70～74歳の窓口負担2割への引き上げをやめること。

署名用紙はご連絡いただければお届けします。



(休日) 小雨決行

日の出町・平井川の川原でバーベキュー
竹の子狩り、つるつる温泉ほか…

集 合 三鷹駅北口8時30分

交 通 貸し切りバス

参加費 3,000円【バス代とバーベキュー代】
小学生 1500円、就学前：無料

※飲み物、軽食は各自ご用意願います

申し込みは後援会または議員まで（締め切り4月27日）